

令和六年（二〇二四年）

理事長あいさつ



理事長
門田 雄一郎
Monden Yuichiro

平素は、銀河学院の教育活動並びに運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。そして、保護者の皆様には、日々、児童生徒の学業、部活動などを支えていただいていることに深い敬意と謝意を表します。

さて、コロナ禍により大きく制約を受けていた状況から、小学校、中学校、高等学校では、徐々にコロナ禍前のような形で教育活動や学校行事、部活動が戻ってきています。児童、生徒の生き生きとした姿が見られるようになり、活気あふれる学園の風景に嬉しさを感じています。

そうした中で、銀河学院の教育は、子どもたち一人ひとりが変化の激しい予測不可能な社会を生き抜いていく力を身につけていくために、いろいろと変化しています。

例えば、中・高等学校では、昨年度から地元の企業や金融機関などと連携した中学一年生から高校二年生までの五年間を一つのサイクルとする新しい進路学習を始めた。生徒が、自分たちでスポーツフェスティバルや文化祭などの活気あふれる学校行事を作ってくれています。今年度は、英会話学校と連携し

て夏期休業中に中学生と小学校の五、六年生を対象として、英語に親しみながら異年齢交流を行う「English ID Camp」を実施するなど、現場の先生方が、児童生徒の成長のために価値があると判断したものであれば、事前の計画の有無にかかわらず、柔軟に企画し、実施してくれています。先生方に改めて感謝いたします。

国公立大学や有名私立大学への進学実績は、以前の良かった頃の進学先や合格者数に戻ってきています。また、部活動の成績についても、昨年全国高校駅伝大会で第九位の成績を収めた陸上競技部や、今年強豪校である広島皆実高校に勝つという成果を上げてくれた女子バスケットボール部をはじめ、女子バレーボール部、男子サッカー部、男子バスケットボール部、吹奏楽部など複数の部が県大会や中国大会で上位の成績を収める活躍を見せてくれています。

また、本学園では創立以来「心豊かな人間性を育成し、調和のとれた人間づくりを旨とします」という建学の精神のもと、多くの人材を育成してきました。おかげで近年では多くの卒業生が、新聞や地域の経済誌などに取り

上げられ、様々な分野で活躍している記事を見かける機会が多くなり、大変嬉しく思っています。最近では、今回の学園報にも掲載されていますが、高等学校卒業生の田口侑治選手が、パリパラリンピックに男子ゴールボールチームの日本代表メンバーの一人として出場し、見事に金メダルを獲得されました。田口選手本人の努力と挑戦に敬意を表します。学園にとって初めての金メダリストであり、十月二十三日（水）に銀河記念体育館で講演をしていただくことにしています。

これからも多くの卒業生が、困難な状況にあつても諦めずに努力と挑戦を積み重ね、それぞれの分野で活躍していただけることを期待しています。

私は、銀河学院が、今後も、きめ細かい丁寧な指導という伝統を守りつつ、児童生徒一人ひとりが、学校生活を通して能力や人間性を高めるために努力と挑戦を重ね、最終的に目指す進路実現を果たし、実績を向上させることによって学園のイメージアップを図り、選ばれる学校にしていくことが、私学を取り巻く厳しい経営環境の中で持続的に発展していくためには大切であると考えています。

引き続き、皆様には、子どもたちが、心豊かな人間性を身につけ、調和のとれた人間に成長し、将来の夢に向けて確かな歩みをしていけるようご支援とご協力をお願いいたします。

スポーツフェスティバル

四月二十九日(月)に、銀河学院中・高等学校のスポーツフェスティバルが開催されました。保護者の皆様には、お忙しい中、足を運んで応援してください、誠にありがとうございます。当日は前日までの雨が止み、途中小雨が降るようなこともありましたが、最後まで競技をすることができ、大変良いスポーツフェスティバルになりました。

クラスや学年を超えて自らのチームの勝利のために団結し、熱い闘いが繰り広げられました。また、銀河パフォーマンスに参加した生徒の熱いパフォーマンスでさらに盛り上がる事が出来ました。応援席からも熱い応援が響き、生徒たちが一体となつて作り上げる銀河学院らしいスポーツフェスティバルになりました。

また、生徒たちは準備期間から本番まで全力で取り組んでいました。運営、準備、片付けなどの役割を担った部活動の生徒や生徒会執行部の生徒の支えがあったことを忘れてはいけません。このような生徒の主体性がスポーツフェスティバルを成功へと導いたと同時にこのスポーツフェスティバルを通して生徒の成長を感じることが出来ました。



(津村 茂)

英語暗唱大会

七月十七日(水)、銀河学院中学校の恒例行事となっている「英語暗唱大会」が今年も盛大に行われました。教科書の中から自分で単元を選び、ジエスチャーを交えたり声色を工夫したりしながら発表するものです。六月にクラスで予選を行い、その中から代表者を決めて本番に臨みました。代表となった生徒たちは当日を迎えるまで、昼休憩や放課後を利用して練習を重ね、時には友達にもアドバイスをもらいながら取り組んできました。中学生になつて本格的に英語の学習を始めた一年生にとっては、大勢の先輩の前に立つことが緊張するものでしたが、堂々とステージに上がることができました。中学二年生、三年生は銀河の先輩として、長い文章を流暢にかつダイナミックに発表し、格好良い姿を見せることができました。

この行事を通して、発表をした生徒たちが大きく成長したことはもちろんですが、聞く側が発表者を尊敬し、来年こそは自分も出場したいという思いが出てきたことが印象的でした。加えて、この行事の進行を担った各学年代表の司会者にも大きな拍手が送られました。

各学年で第一位となつた生徒は十月に行われる福山市の暗唱大会に出場します。みんな健康を祈りたいと思います。



(杉野 友亮)

小学校

子どもの笑顔が輝く行事を

コロナ感染症対策によって、時期や実施方法に工夫を加えながらもなんとか少しでもできる形でできる行事を行ってきた三年間から、昨年度以降やっと、ほぼ通常の状態にもどり、本来予定されていた行事もほとんど実施することができるようになりました。

一般に学校行事といつても、儀式的行事、文化的行事、健康安全・体育的行事、遠足・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行事とその内容によって様々です。行事によりそのねらいも様々ですが、すべてに共通するのは体験的な活動を通して学ぶということです。その活動の中で、子どもたちが、達成することの喜びを感じたり本物に触れることで感動したりすると同時に、仲間との触れ合いやつながりを深めていきます。やはり行事が順調に実施できることは、子どもたちの成長にとって大切な要素になるのだと思います。

今年度も四月の始業式・入学式から始まり、運動会、研修旅行(六年生)、野外活動(五年生)と大きな行事が予定通り行われてきています。運動会では異



研修旅行の様子



学年との、遠足や野外活動、研修旅行では同学年とのつながりを深めると同時に達成感や自信を得ることができました。終えた後の子どもたちのすばらしい笑顔がそのことを物語っていました。研修旅行最終日、福山駅に帰って来た時に新幹線ホームから降りてきた子どもたちが見せてくれた笑顔もとても印象的でした。ただ、子どもたちは、どんなに楽しみにしている行事でも、当日までの準備や練習段階で、うまくいかずに苦しんだり、意見が合わずに友だちと衝突したり、見えない部分での苦労を経験しています。そのすばらしい笑顔は、それを経験しているからこそそのものであり、だからこそ私たちにも満足感や喜びを与えてくれるのだと思います。

昨年度以降、学校行事が通常通り行なえるようになったと申しましたが、これは、皆様に学校に来ていただき、子どもたちの様子を見ていただける機会が戻ったということでもあります。その際には、その時間だけでなく、そこに至るまでの子どもたちの苦勞もふまえて、子どもたちを見守つただければと思います。

年度後半も、学習発表会、社会見学、マラソン大会など、まだまだ行事は計画されています。これからも学校行事が、子どもたちの笑顔が輝かせるものにしていかなければならないと考えています。

(篠村 英穂)

インターハイ出場 【水泳】

令和六年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会（競泳）に、高校三年生の上野敬汰さん（400m自由形・1500m自由形）と高校一年生の上野裕汰さん（200m背泳ぎ）が出場しました。全国から集まった高校生たちが、一堂に会して競泳の大舞台に立つこの大会は、生徒たちにとつても大切な場です。この日のために、彼らは本当にたくさん時間をかけて、毎日練習に励んできました。

大会当日、緊張や期待を抱えながらも、全力でレースに挑む姿は、とても心に響きました。また、他校の選手たちとの交流を通じて、新たな刺激を受け、競技に対する意欲がさらに高まったように感じます。ここまで生徒たちが頑張りを続けられたのは、保護者やご家族の方の温かい支えがあったからこそです。日々の練習を見守り、励まし続けてくださったそのサポートが、彼らにとって大きな力になったことと思います。



これから、生徒たちが自分の限界に挑戦し、もっと成長できるように、私たちが一杯サポートしていきたいと考えています。

（日野敏裕）

インターハイ出場 【陸上競技部】

令和六年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
競 技：令和6年7月28日（日）～8月1日（木）
会 場：東平尾公園博多の森陸上競技場
出場選手：細見芽生（女子1500m・女子3000m）
中塔美咲（女子3000m）
監 督：森政芳寿
日 程：女子1500m予選（7月28日）
 決勝（7月29日）
 女子3000m予選（7月31日）
 決勝（8月1日）

【森政芳寿監督のコメント】

これまで学校の協力、地域の皆さまのご理解と応援のおかげで、二名がインターハイ出場を果たすことができました。暑い中のレースでしたが、選手は最後までよく頑張ってくれました。細見さんは1500m・3000m共に入賞を果たし、大きな自信につながったと思います。また、新たな目標を持って、秋の高校駅伝に向けてチーム一丸となって戦えるよう練習を積み重ねていきます。今後とも皆さまのご理解とご声援をお願いいたします。

【中塔美咲さんのコメント】

インターハイ出場が決まった時、本当に嬉しかったです。調子が悪く、思うような結果がでないこともありましたが、頑張ってきたて良かったと思える瞬間でした。3000m予選当日は緊張していましたが、自分の力が発揮できるようにと落ち着いてスタートラインに立つことができました。初めてのインターハイは悔しい結果になりました。

たが、自分の課題が見つかりました。これから新たな目標に向けてまた頑張ります。応援、本当にありがとうございました。

【細見芽生さんのコメント】

今年度はスピードを強化してきました。怪我などもなく、順調に練習を積み重ねることができていたので、落ち着いて走れば4分20秒（1500m）を切る自信はありました。六位入賞することができ、嬉しい気持ちと「3000mでは日本人トップになる」という強い気持ちが生まれました。

監督との作戦通り、ラスト1000mで集団の前に出て、最後まで粘り切ることができました。「自己



ベストで日本人トップ」という最高の結果で終わることができました。皆さまの応援、本当にありがとうございました。

オープンスクールの実施

七月六日（土）、蛇田太鼓に所属している本校在校生三名の力強い太鼓の音が記念体育館中に響き渡り、華々しく中学オープンスクールの開催を告げられました。数学科が行った児童、保護者全員参加の授業、「数字の法則を利用し

た手品を体験しよう」では、「なぜ？」「なるほど」「やってみよう！」を体験できる授業でした。銀河学院の体験授業は、「中学校の授業内容を含み、楽しく、新たな知識を得ること」を目標としています。

各教科に分かれての体験授業でも、「なぜ？」「なるほど」「やってみよう！」がいっぱいでした。各教科が嗜好を凝らし、参加してくださった児童、保護者の方からも好評でした。

体験部活動・部活動見学については、中学生、高校生が丁寧に指導、アドバイス、実演をしてくれたおかげで、「楽しかった」「先輩の声かけがすごく優しく安心した」「自分もこの部活で活躍したいと思った」などのアンケートを数多く見ることができました。

八月一日（木）、高校オープンスクールでは、暑さ対策として「オープンング」を各教室で行う「動画配信」で行いました。今年度の高校オープンスクールは、これまでの一教科一講座ではなく、国語科では三つの講座を開設しました。講座が増えると参加して下さる生徒の選択肢も増え、楽しさも増えることに繋がります。

今年度も、多くの児童、生徒、保護者の皆様に参加をしていただきました。このオープンスクールで持っていたいた銀河学院への興味、関心を、今後の行事でさらに深めていただく取り組みを行っていきたいと思います。

（谷本浩二）

新任者
インタビュー
interview

Q1. 銀河学院を選んだ理由

銀河学院の子どもたちが夢の実現に向けて成長していく姿を見たいと思ったから。

Q2. あなたのモットーは

「時は金なり」を念頭に行動すること。

Q3. 理想の上司像、著名人

佐藤栄作

Q4. 将来仕事以外での夢・チャレンジしたいこと

“トワイライトエクスプレス瑞風”に乗って夫婦で旅行したい。

Q5. 趣味・休日の過ごし方

愛車Z900RSでツーリング

Q6. 好きな芸能人、アーティスト

桑田佳祐、高橋真梨子

Q7. 自己PR&銀河学院でやりたいこと

自己PR：感謝の気持ちを忘れないこと。
銀河学院でやりたいこと：子どもたちが大事にされる、子どもたちが人を大事にする学校であることが、子どもたちの心を豊かにし、確かな学び・成長につながることを伝えたい。



佐藤 元彦
Sato Morohiko

事務局
事務局長

Q1. 銀河学院を選んだ理由

Q2. あなたのモットーは

Q3. 理想の上司像、著名人

Q4. 将来仕事以外での夢

チャレンジしたいこと

Q5. 趣味・休日の過ごし方

Q6. 好きな芸能人、アーティスト

Q7. 自己PR&銀河学院でやりたいこと

4月より銀河学院の一員としてお迎えした先生方にインタビューをしました。趣味や、休日の過ごし方など、普段はわからない先生方の意外な一面も垣間見られる楽しいインタビューとなりました。

Q1. 銀河学院を選んだ理由

学生の時分馴染みのある学校で、中高一貫校だったので選びました。

Q2. あなたのモットーは

「努力そのものに価値はない」

Q3. 理想の上司像、著名人

小さな問題でも、共に悩んでくれる人が上司であらばいいと思います。

Q4. 将来仕事以外での夢・チャレンジしたいこと

自分の車で北海道まで行ってみたい。

Q5. 趣味・休日の過ごし方

疑似餌を使った川釣。

Q6. 好きな芸能人、アーティスト

橋本直樹、カートコバーン、サンドウィッチマン

Q7. 自己PR&銀河学院でやりたいこと

教師生活もそこそこ長く、中高私立公立と様々な学校を経験し、少しは見えるものも増えてきました。銀河学院では生徒を長い目で見つ、彼女らがより良い一日を作る手助けをしていきたいと思っています。



竹内 優太
Takeuchi Yura

中学校
3学年
国語

Q1. 銀河学院を選んだ理由

建学の精神に共感をしたからです。

Q2. あなたのモットーは

「継続は力なり」

Q3. 理想の上司像、著名人

相談しやすい上司が理想です。

Q4. 将来仕事以外での夢・チャレンジしたいこと

バンジージャンプに挑戦してみたいです！

Q5. 趣味・休日の過ごし方

お出かけをしておいしいものを食べることです。

Q6. 好きな芸能人、アーティスト

北村匠海!橋本生! DISH// が好きです!

高校生の時から推しています。

Q7. 自己PR&銀河学院でやりたいこと

私は教員として、生徒とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。なぜなら、生徒とコミュニケーションが取れないと、信頼関係も築くことが出来ないで、一番に生徒との会話を大切にしたいと考えています。これから、もっと生徒と会話をしていきたいと思っています!



川瀬 優稀
Kawase Yuki

中学校
1学年
国語

Q1. 銀河学院を選んだ理由

自分自身を成長させてくれた高校サッカーに恩返しが見たいと思ったから。

Q2. あなたのモットーは

「努力はうそをつかない」

Q3. 理想の上司像、著名人

時代に合わせる。

Q4. 将来仕事以外での夢・チャレンジしたいこと

特になし。

Q5. 趣味・休日の過ごし方

香水を集めること。

Q6. 好きな芸能人、アーティスト

SPICYCHOCOLATE、清水翔太

Q7. 自己PR&銀河学院でやりたいこと

死ぬこと以外はかすり傷の精神で何事にも全力で取り組みます。



新田 健人
Nitta Kenjo

中学校
2学年
社会

Q1. 銀河学院を選んだ理由

部活動指導に専念できる環境に大変魅力を感じました。

Q2. あなたのモットーは

「必ずできる」

Q3. 理想の上司像、著名人

坂本龍馬

Q4. 将来仕事以外での夢・チャレンジしたいこと

世界一周。キャンピングカーで日本一周。

Q5. 趣味・休日の過ごし方

スポーツ観戦。妻と穏やかに過ごしています。

Q6. 好きな芸能人、アーティスト

マツコ・デラックス

Q7. 自己PR&銀河学院でやりたいこと

日本一。



山本 浩司
Yamamoto Koji

参与
陸上競技部

生徒会活動について

【中学校生徒会】

中学校生徒会は、銀河学院の生徒たちがより良い学校生活を送れるように、そして地域に貢献するために、執行部員が主体となつて各活動に取り組んでいます。主な活動内容としては、生徒総会、スポーツフェスティバル、文化祭、義務教育修了式決意表明の会といった、生徒会行事の企画・運営を行っています。また、高齢者の代わりに粗大ゴミを回収・ゴミ出しをしたり、家庭で眠っている食品を食料支援を希望する方にお渡しするフードたすけあいネットに参加したりと、地域・社会貢献にも積極的に取り組んでいます。

(安倍遥奈)

【高等学校生徒会】

このたび、新しい生徒会役員が選ばれました。新しいメンバーたちは、みんなが学校生活をもっと楽しく過ごせるように考え、一生懸命がんばっています。

生徒会は、毎年のスポーツフェスティバルや文化祭の準備や運営を行っています。みんなが楽しめるように、いろいろなアイデアを出し合つて、素敵なイベントを作り上げたいと思っています。また、生徒会は、地域のボランティア活動も行っています。粗大ゴミの回収やお祭りの神輿を担ぐなど、地域の人たちと一緒に活動しています。これからも、みんなで協力して楽しい生徒会にしていきたいです。

(日野敏裕)

パリ2024 パラリンピック出場 ゴールボール

史上初 金メダル獲得!

平成三十二年卒業生 田口侑治 選手



田口選手は、高校時代は剣道部に所属していました。卒業後、一度は料理人の道に進みましたが、視覚障がいのためその道を断念しました。その後、国立障害者リハビリテーションセンターでゴールボールと出会い、競技を始めました。そして、めきめきと頭角を現し、平成二十九年に日本代表入りしました。今回、東京パラリンピックに続き、パリ2024パラリンピックに出場しました。ポジションはセンター、刀を思わせる鋭い感覚の守備力を発揮して、決勝でウクライナを4-3で破り、見事、金メダルを獲得しました。田口選手おめでとうございます。

【田口選手のコメント】

この度2024パリ大会に出場するにあたり、たくさんのお客様の応援にありがとうございます。私は高校三年間を銀河学院の一員として、苦手を勉強に四苦八苦しながら、放課後は部活の剣道に打ち込み、精神面、肉体面を鍛えて頂きました。パリ大会では銀河学院のOBとして、堂々と戦い、金メダルを獲得して参ります。応援のほどどうぞよろしくお願い致します。

令和六年度 人事

【新任者】《理事・評議員》

理事 …………… 佐藤 元彦
評議員 …………… 福田ゆかり

【新任者】《事務局》

事務局長 …………… 佐藤 元彦

【新任者】《中・高等学校》

国語 …………… 竹内 優太
国語 …………… 川瀬 優稀
社会 …………… 新田 健人
参与(陸上競技部) …… 山本 浩司

【退職者】《理事・評議員》

理事 …………… 赤木 則行
評議員 …………… 三好美穂子

【退職者】《事務局》

事務局長 …………… 赤木 則行

【退職者】《中・高等学校》

英語 …………… 杉野 一騎
国語 …………… 日山 愛実



永年勤続者表彰

二十年 …………… 内木 栄治
二十年 …………… 吉津 孝昭
十五年 …………… 丹下沙矢香



GINGA GAKUIN SCHOOL PAPER

学園報 銀河 第43号

令和6年10月1日(年2回発行)
編集・発行/学校法人 銀河学院

〒721-0921
福山市大門町大門 119-8
TEL (084) 941-9292 FAX (084) 941-7142
ホームページ: <http://www.ginga.ac.jp>